

4. 【ロボットフォトニクス】

第1回委員会

1. 日時 2024年7月17日
2. 場所 マイドームおおさか
3. 内容

7/17(水)・18(木)にマイドームおおさかで開催されたオプトロニクス社主催の展示会(光・レーザー関西2024, および使えるセンサ・計測展2024)での併催イベントとしてのオープンセミナーに企画協力した。ロボットフォトニクス専門委員会の狙い, LiDAR や赤外線センシング, 水中での光無線通信の可能性について講演があり, 活発な議論が行われた。展示会の参加者や出展者に向けても, 光センサのロボット応用の可能性についてアピールできた。

4. 参加人数 42名

オーガナイズドセッション企画

1. 日時 2024年9月4日
2. 場所 大阪工業大学梅田キャンパス
3. 内容

第42回日本ロボット学会学術講演会(RSJ2024)において, 「ロボットフォトニクス」に関するオーガナイズドセッション(OS)を企画した。三菱電機からマイクロマウス競技大会における自律分散協調技術促進のためのロボット新競技についての提案と車体構成と光センサの検討について, 産業技術短期大学からロボット教育における光センシングの事例について, 東京理科大から回転六角柱を使ったモーションブラー補償システムの開発事例について, 群馬大学からランダムアクセスビジョンの視線方向トラッキング手法についての発表があり, 活発な議論が行われた。

4. 参加人数: 約20名

第2回委員会

1. 日時 2024年9月20日
2. 場所 東京ビッグサイト
3. 内容

Japan Robot Week2024において, 第11回日本ロボット大賞の展示エリアやロボットビジネスを中心に, ロボット技術と光技術の融合である(ロボットフォトニクス)に関連する技術の動向について調査した。社会課題を見据えたロボットサービスをはじめ, Sler(システムインテグレーター)なども出展しており, ロボットフォトニクスに関連する技術動向(シーズ)や解決しようとしている社会課題(ニーズ)について, 出展機関から説明を受けて意見交換した。

4. 参加人数 6名

第3回委員会

1. 日時 2025年2月23日

2. 場所 東京流通センター

3. 内容

全日本マイクロマウス大会2024は、マイクロマウス競技、クラシックマウス競技、ロボットレース競技の3カテゴリーからなる。マイクロマウスとクラシックマウスでは、探索走行で未知の迷路を把握し、ゴールへの時間を競う競技である。ロボットレースでは、白ラインに沿って時間を競う競技である。主催者は公益財団法人ニューテクノロジー振興財団で、経済産業省、文部科学省、日本ロボット学会などが後援し、三菱電機株式会社がダイヤモンドスポンサーである。競技後の技術交流会において、三菱電機株式会社の提案する新競技のデモンストレーションも実施された。この競技を通じて、協調作業するロボットの開発人材の育成に繋がりたいとの狙いもあり、次回からスタートする。見学を通じて、ロボット競技会を通じた人材育成への取組みを体感することができた。

4. 参加人数 12名

(主査 村井 健介)